

# 暴風雪

明けましておめでとうございます。

新年になりましたが、これから春を迎えるまでの3ヶ月間は厳しい冬が続きます。この時期には皆様に、暴風雪に注意していただきたいと思います。

暴風雪とは、非常に強い風と降雪が同時に起きる現象で視界は遮られ、猛ふぶきとなります。

暴風雪は、強い冬型の気圧配置や、発達した（又は発達しながら）低気圧が北海道を通過する時に起こりやすくなります。

気象台が発表する暴風雪警報は、非常に強い風（宗谷地方では陸上で20m/s以上、海上で25m/s以上）に雪を伴い、重大な災害が起こるおそれがある時に発表します。

稚内地方気象台では過去10年間（2005年から2014年）で33回暴風雪警報を発表しており、平均すると1年間で3.3回発表される計算となります。

暴風雪になると、猛ふぶきや吹きだまりによる交通障害や視程障害となり、道路の通行止め、車両の立ち往生、列車の運休、停電などの被害が起こり易くなりますので警戒が必要です。

最近起きた被害を見てみますと、平成25年3月1日～3日には、国道3路線5区間及び道道34路線で通行止め、JRは特急を含む26便運休となりました。またこの時には、宗谷地方で32台の車両が立ち往生しましたが、全道では929台もの車両が立ち往生し、残念なことに、9名の方が亡くなりました。

平成25年1月25日～27日には、国道3路線5区間及び道道16路線が通行止め、JRでは特急を含む32便が運休、26日には稚内市内の路線バス全便終日運休、稚内市と猿払村では1187戸が停電となりました。

平成24年2月15日～16日には、国道4路線及び道道20路線が通行止め、JRでは特急を含む4便が運休、礼文島では1320戸の停電が起きました。また、宗谷管内では150台の車両が立ち往生しています。

札幌管区気象台のHPには、札幌管区気象台と北海道開発局、北海道、(独) 土木研究所 寒地土木研究所の4機関の共同で作成した、「暴風雪のリーフレット」、「防災ミニノート」、「小学生向けリーフレット」がありますので是非一読し、暴風雪への備えの参考にしてください。

## 札幌管区気象台HP 暴風雪への備え

<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/bousaikyouiku/schoolbousai/boufusetu/boufusetu.html>

気象状況・天気予報の確認先 稚内地方気象台（電話:0162-23-2678）

※稚内地方気象台ホームページURL

<http://www.jma-net.go.jp/wakkanai/index.html>

※問い合わせ先

稚内地方気象台(電話:0162-23-2679)



## 十一月定例俳句会

幌延ほおずき俳句会

枯野ゆく人に還らぬ月日かな

藤岡 芙美

牛の里風の枯野となりけり

横山 貞雄

リセットの出来ぬ月日や大枯野

三浦 宮吉

枯野なり季の巡り来し彩りも

富樫とも子

枯野道老いゆく道のしみじみと

佐藤 光朗

昨日まで広がる草地枯野です

熊谷千恵子

地に還りゆく道ひとつ枯野人

田中 徹男